

絹本着色仏涅槃図



指定区分	国指定重要文化財(絵画)
読みかた	けんぽんちゃくしよくぶつねはんず
所在地	瀬戸内市牛窓町千手 遍明院
指定年月日	明治34年8月2日
解説	涅槃相を中心に、その前後七相をまわりに配置した八相涅槃図である。大和絵風で、金、朱、群青などの原色を多用している。仏涅槃図は、平安時代中期頃から涅槃会の普及に伴い、多く作られるようになった。在地の絵仏師による鎌倉時代中期の制作と考えられている。
アクセス方法	
公開状況	京都国立博物館保管
設備	
備考	